



まちの宝物

食べ頃を迎えた夕張メロンを誇らしげに披露するメロンの王様。地元小学校とJ A夕張市が取り組んだ食育活動の一環として児童が制作した作品の一つです。

深みのある甘い香り、とろけるような食感、鮮やかなオレンジ色の果肉。人々を虜にする夕張メロンは、「メロンの王様」ともいわれています。

明るい色づかい、王様の笑顔、力強いメッセージから、夕張に住む楓奈さんにとって夕張メロンが特別な存在であることがうかがえます。王様の誇らしげな表情は、わが町の特産品を誇りに思う夕張市民の気持ちを反映しているのかもしれませんが、来年の話をすると鬼が笑うと言いますが、この絵を見て、早くも夏の味が恋しくなりました。